



魔の颱風

去九月二十一日の朝である、魔の颱風が土佐沖から襲來して大阪灣に入り大阪市及其附近から淀川を過つて瀬田に出て滋賀京都を狂ふて日本海に去つた其風力は六十米で大阪堺市の如き殆んど全部の工場は破壊せられ數百の小學校は倒され五重塔の如き建造物は木葉微塵にたゞきつぶされ、列車は顛覆されて、あらゆる文化的施設は一瞬間に其俾力で奪ひ去られた、千餘の人生は失はれ涙ぐましき許多の慘事は演出せられた、我日本の經濟の中心は見事に破壊せられ數億の富力は空しく消滅した、此經濟都市工業都市の回復はまた容易でない、大正

十二年九月の關東大震火で政治都市である東京が如何に惱まされたか貿易都市の横濱が今尙苦んでゐる、夫れで人間の傲慢心が反省せられて敬天の精神を振起されたのである、工學上耐震耐火の研究は進歩したのである、だがとかく喉元すぐれば暑さを忘るゝが人間の常態である、自惚心と自負心と高慢は日ならずして擡頭した觀がある、視よ日常の社會事情を更らに斯の如き社會の狀態に在る際國際的危期が兩三年後に惹起せらるるとの豫言的風説が煽動せられ、流布せられ其の憂慮すべき實體如何は通常人には知り得られないが、兎も角危險の時機が近づきゐるとの感を國民に感得せしめられた、そこで國防上の緊切な設備乃至覺

注 本欄は讀者諸氏の利用に提供す、治安と風俗とを害し又は人身攻撃に涉らざる限り奇想天外的の寄稿を望む、一文は四百字位にて取捨は編輯者に一任、原稿は道路の改良編輯部宛のこと。

悟が唱道せられ防空演習の如き假想的軍器の俾力を恐れしむへき訓練が行はれ、敵機が眞に飛來して數種の爆破が行はれたならば最早何事も人爲では施すべき餘地なきに尙斯際の行動が演習せられ青年者は勿論小學兒童か或は半ば興味的に行動したのは餘り遠き昔日ではない、然るに自然力の暴力、颱風の俾力は假空的でなく如實に現はれた、防風の事には何等の演習が行はれなかつた、風の力、水の力其破壊の偉大なるには人力の微々たることを實驗した、自然力に對する人の智識の征服は如何に心細きものなるかを事實に於て認識せしめられた天意果して那邊にあるか吾れ人共に反省熟慮すべき問題である。(九、二八、ヨシタニ)

國際的奏効？

滿洲に於ての東支鐵道買收問題はかなり永き間の案件である、其交渉は或は樂觀され或は悲觀されて迂餘曲折の餘り甚しきものがあつた、然るに頃日傳へらるる處によると廣田外相の斡旋に依つて一億七千萬圓の代償で交渉成立するならんと、の事である、近來の痛快事だ、彼の東支鐵道が依然北滿の地を横斷するに於ては不斷滿露の國際的問題が繰返へされて未來永却の癌となつて「滿州國は惱まざるゝことである、交通上の支障は時々惹起せられ、物質の運輸は滯滯勝ちとなる、しかのみでなく滿鐵に取つては其經營上の不便不利は矢張昔日の如くあるべきは勿論である、此買收問題の好轉は何んと言ふても痛快事である、該鐵道買收問題の圓滿な解決は日滿露間に於ての國際上に大なる平和的觀念をもたらしめるのである、英佛米はもとより其他の諸國も雅量坦懐大に此を贊助すべきである、斯く

てこそ東洋の平和は保持せらるゝであらう
(九、二五、比路志)

東京市電の更生案は？

東京市營電車運輸事業は累年赤字に赤字を累ぬる歳計の状態である、大正九年度の罷業事件の解決に際して建直した經濟的劃策が實行せられたなら今日の憂目は或は多少緩和せられたかも知れないが人間萬事塞翁の馬である、這次東京市の更生案なるものが案出提唱せられ、其發表せらるゝや全従業員は一大罷業を敢行した、熊本委員長其他幹部の指導宜しきを得た爲か實に見事な統制振を發揮した、全國の交通労働者は此更生案と實行方法とが世間から當然視されたならば企業者資本者の意の儘に勞資關係が處理せらるゝの風を生ずる、今日は人の上、明日は我が身の上との感に打たれ而かも市電従業者に同情の大なる處から應援支持の態度に出た、政府當局も見るに見かねて遂に警視總監から強制調停が命ぜられ

今や其審議中で結果は吾曹の豫想を許されないがとにもかくにも山下局長の最善更生案なるものゝ價値は批判せらるることとなつた、吾曹聊か感ずる處がある、六箇十菊の感あるも所謂更生案の検討上是非とも考量しなければならぬ點があると思はる、夫れは東京市電車赤字状態發生の原因である、吾曹門外漢たる爲めに事或は肯緊に中らない點があるかも知れないが吾曹の腦裡にある所を記すると一、乗車料金均一制の失當(カーマイル當り乗客數及料金額に徴し其不當なる事が判然する)二、大正十二年の震火災の被害(大正九年以降の財政計畫の破壊)三、路面電車の行詰に具ふる計畫の缺陷(大正九年頃電氣局當事者が全市バス運輸を策したるに當時の市參事會は之を否決した)四、省線電車賃金の過當なる低額(定期乗車料金の如き他の同事業者に重壓を加ふるの觀あるのみでなく市電に於て定期券の發行を畫したるに鐵道省は之を否認した事實があると聞く)五、乗用

自動車及バスの普及六、電力購入費の不廉（會て多摩川上流に於て殆んど東京市の占用に公認せられて居る多摩川水の使用を市の意見に反し私營に許可を與へ市電自力自給を不能に終らしめた事實がある）七、乗務員の整理の不徹底八、大道局長時代の從業者賃金の増加（物價指數に依つて明かなる如く大正九年の賃金及退職年金額は電車經濟の許さるる限度に於て最高額を定めたるに大正十四年の頃殆んど二割の増額を行ひ賃金總額及退職年額に於て巨額の赤字發生の原因を爲したものである）九、地下鐵の延長 十、公營事業中收益を生ずる事業經營に對する監督官廳の理解不十分なること 十一、政府財政の都合に依つて市に買

收せしめたる關係は今日尙事業を不利に導き居ること 十二、市會議員が電車事業に對し認識不足の觀あること 十三、東京市民が乘心地と賃金の安價のみに重きを置き公益事業に關心することの欠乏等である、官廳も市當局者も從業者も市民も共に反省

考慮すべき問題である、唯當面の專案のみ解決では眞の解決は出来ないことと信ずる。（九、二五、夏木生）

會者定離

十數年間内務省土木局に在つて路政界に大なる功績を顯はされた土木事務官田中好氏は突如として官界を去られた、何んか夢ではないかとまで疑はるゝことである、同氏の功績を私共の云爲すべきものではないが私は其職務に忠實で熱心で時には獨斷に過ぎはしまいか横暴と評されはしまいか我儘と見られはしまいかと憂心を禁じ得ないことも時にあつた程でその縦横に振はれた手腕と才能は驚くの外はないのであります、入り替り立ち替りする局課長を援けて道路法の制定や其他路政の改善匡救事業の實行道路改良會の支持援助等路政界の凡ての方面に涉つて努力せられた、斯る熱烈な行動は時に他官廳の忌憚に觸れて上司の譴責を蒙つたこともある、内政に忠ならんと

しての事であるから上司は涙をふるつて馬糞を斬るの感があつたであらうと思はれます、今一去つて東京高速鐵道事業に従事せることとなられた、自重して熱力を潜在せしめ關係方面の接觸に當たらるゝ様願ひます、同氏が甫めて京都府屬となられたのは明治四十年一月二十五日で府の土木課員となられた 正七年四月二十七日六級俸の内務屬に轉ぜられ爾來土木局に勤務せられ同十一年八月十四日土木事務官となられた同十二年十二月には鐵道事務官をも兼ねらるゝこととなつた 昭和九年七月十六日奏任官の最高位に昇られた、同氏の閱歴を見ても實に異數の昇進であると思はれる、此は同氏の力量才覺の優秀の現れである其著述に講演に事務の處理に社交の跡を見るときに其故あることが知られます、私は其力量才覺が官界に在るとは異なる方面に異なる様式を以て更らに鮮やかな色彩を發現せらるゝことを衷心から祈つて居ります。

（九、二六、都南子）